

授業科目名	生活科教育法			科目コード	K1203P25
英文名	Methods of Teaching Life Environment Studies				
科目区分	子ども育成の内容・方法				
職名	非常勤講師		担当教員名	水上 義行	
学部	子ども育成学部		学科	子ども育成学科	
曜日	金曜日		時限	4限目	
開講時期	3年前期		授業の方法	講義	
必修・選択	選択		単位数	2単位	
授業の概要	低学年児童の特性を生かした実際の生活科授業を、教材づくり、体験活動などを通して理解し、学習指導案の作成・模擬授業の実施など実践的な指導能力を高める。				
キーワード	①活動や体験	②遊び	③自然・社会	④評価	⑤気付き
到達目標	①生活科新設の背景や、学習内容である9項目について、目標・内容を具体的な子どもの学びの姿で理解できる。(30%)				
	②指導計画や指導案の作成、模擬授業などを行い、生活科の意義や低学年教育に果たす役割を説明できる。(40%)				
	③幼保小の接続や、小学校低学年から中学年への接続に果たす生活科の役割を理解して接続カリキュラムを考えることができる。(30%)				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
○			◎		
ディプロマポリシー	③地域に生きる専門職としての資質・能力（専門性の向上）				
カリキュラムポリシー	②子ども育成の理論と実践			④富山の子ども育成	
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力		人間理解力	教育支援力
○	○	◎			◎
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動
◎			◎	○	

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	生活科授業の特性 (1～15回は、小学校教員などの実務経験のある教員が授業を行う)	
	【予習】平成29年版学習指導要領を参考に、生活科の概要を把握しておく。	20分
	【復習】講義内容をまとめる。	20分
第2回	低学年教育への問題提起	
	【予習】生活科は、低学年教育にどのような問題提起をしたのか予測しておく。	20分
	【復習】講義内容のまとめ	20分
第3回	生活科の目標	
	【予習】学習指導要領に示された生活科の目標を調べておく。	20分
	【復習】講義内容のまとめ	20分
第4回	生活科の内容	
	【予習】学習指導要領に示された生活科の内容を調べておく。	20分
	【復習】講義内容のまとめ	20分
第5回	指導計画の作成と内容の取扱い	
	【予習】生活科の年間計画や学習展開の在り方について調べておく。	20分
	【復習】講義内容のまとめ	20分
第6回	指導計画の作成と学習指導	
	【予習】生活科学習指導案の作成を試みる。	20分
	【復習】講義内容のまとめ	20分
第7回	生活科授業の参観	
	【予習】富山県小学校教育研究会の研究作成試案を精読しておく。	20分
	【復習】授業参観後に学習したことをレポートにまとめる。	20分
第8回	生活科指導と教師の役割	
	【予習】具体的な活動や体験を重視する指導について、具体例を調査しておく。	20分
	【復習】講義内容のまとめ	20分
第9回	生活科教材の収集	
	【予習】身の回りの生活科教材を収集しておく。	20分
	【復習】講義内容のまとめ	20分

第10回	生活科の学習指導案	
	【予習】第6回から続けてきた生活科学習指導案を提案できるようにしておく。	20分
	【復習】講義内容のまとめ	20分
第11回	生活科授業の展開①　－優れた実践事例から授業構想を学ぶ－	
	【予習】生活科模擬授業の対策を立てておく。	20分
	【復習】生活科模擬授業の指導案を見直し、修正する。	20分
第12回	生活科授業の展開②　－授業の導入を中心に模擬授業を実施する－	
	【予習】生活科模擬授業の対策を立てておく。	20分
	【復習】生活科模擬授業の結果を分析してまとめておく。	20分
第13回	生活科授業の展開③　－活動中を中心に模擬授業を実施する－	
	【予習】生活科模擬授業の対策を立てておく。	20分
	【復習】生活科模擬授業の結果を分析してまとめておく。	20分
第14回	幼児教育から小学校への移行と接続について－スタートカリキュラムと生活科の役割について－	
	【予習】幼保接続に関する問題点について、調べておく。	20分
	【復習】講義内容のまとめ	20分
第15回	低学年から中学年への円滑な移行　－低学年から中学年への移行－	
	【予習】生活科から総合的な学習の時間への移行や低学年から中学年以上の児童の発達段階を調べておく。	20分
	【復習】講義内容のまとめ	20分
第16回	全体のまとめとレポート作成	
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	到達目標項目 ②及び③では、15回の取組状況及び学習環境に関するレポート(30%)、作成された指導案や模擬授業等(40%)、児童の動きに対する教員としての対応等(30%)により評価する。なお、評価する基準は、「富山国際大学成績評価基準」に従って評価する。		
使用資料 ＜テキスト＞	『小学校学習指導要領（平成29年告示）解説生活科編』文部科学省	使用資料 ＜参考図書＞	必要に応じて資料を印刷し、配布する。
授業外学修等	県内小学校授業参観・学外教材探索など		
授業外質問方法	授業の前後		
オフィス・アワー			